

# ブリッツェン 岡、今季2勝目

## 自転車

### JPT第4戦

自転車ロードレースのJプロツアー(JPT)第4戦「修善寺ロードDay2」は18日、静岡県伊豆市の日本サイクルスポーツセンター(1周8.5×15周=120.75)で行われ、宇都宮ブリッツェンの岡篤志が3時間41分43秒で優勝した。岡は今季2勝目。

レースには108選手が出走した。ブリッツェンは序盤、約20人の先頭集団に岡、増田成幸、鈴木龍の3人を送り込んだ。その後、集団は11人に絞られ、残り2周で岡、増田を含む4人となった。最後は増田のアシス

トを受けた岡が単独で抜け出し、フィニッシュ。増田が3位、鈴木龍が5位となった。那須ブラーゼンのは柴田雅之の14位、ホンダ栃木は平塚佑亮の22位が最高だった。

ブリッツェンとブラーゼンは23、25日、県内で開催される「第2回ツール・ド・とちぎ」に出場。JPT第5戦は4月28日(日)に群馬県で開かれる。▽P1(8.5×15周=120.75)

①岡篤志 宇都宮ブリッツェン 3時間41分43秒  
②アイラン・フェルナンデス(マドリッド) スパワータク 3時間42分22秒  
③増田成幸 宇都宮ブリッツェン 3時間42分27秒  
④鈴木龍 同 3時間45分27秒  
⑤鈴木謙 同 3時間45分34秒  
⑥小野寺玲 同 3時間46分10秒  
⑦柴田雅之 那須ブラーゼン 3時間46分15秒  
⑧馬場伸弥 宇都宮ブリッツェン 3時間47分30秒  
⑨平塚佑亮 ホンダ栃木 3時間47分30秒



今季2勝目を飾り、ガッツポーズでゴールする宇都宮ブリッツェンの岡。静岡伊豆市、小森信道さん撮影

47分31秒  
⑩阿部航大 同 3時間47分35秒  
⑪雨沢毅明 宇都宮ブリッツェン 3時間47分37秒  
⑫岸崇仁、樋口駿明、吉田悠人、水吉篤弥、那須ブラーゼン、野宮、明佐川、祐太、小林宏志、水間健、小泉亮一(ホンダ栃木)、飯野賢行(宇都宮ブリッツェン)以上途中棄権  
▽F(8.5×4周=34.25) ①大岩明子(トラウ・ブリッツェン) 上途中棄権

1時間10分47秒の伊藤喜菜(ライオン)が1位、ピチステンレ1時間10分48秒、森本保佳(TEA)1時間10分50秒、Mairout 1時間11分2秒、中村千佳(ライオン)1時間11分2秒、ピチステンレ1時間15分19秒、杉山泰代(ホンダ栃木)、新野杏菜(トラウ・ブリッツェン)以上途中棄権

## 光った総合力

### ハイライト

プロ初勝利からわずか3週間、今季2勝目を挙げ、個人ランキング1位の称号であるルビレツドジャーシーを取り戻した宇都宮ブリッツェンの岡篤志。最終アタックが奏功し「力の使いどころを間違えず、最後まで脚を温存できた。ブリッツェンが勝ててよかった。声には安堵の色がうかがえた。

前日の第3戦の反省が勝利を引き寄せた。序盤にできた逃げに

岡、増田成幸、鈴木龍が乗り、メイン集団は残りのメンバーがコントロール。終盤に岡が仕掛けたアタックでさらに絞られた逃げに増田も参戦。数的優位を保った。甲狀腺疾患を抱える増田は本調子ではなかったが「とにかくできる限りのことに徹した」とラス1周まで岡を引き連れる好アシスト。自身も昨季第2戦以来の表彰台に上った。

休む間もなく23日には「ツール・ド・とちぎ」が開幕し、地元で国内外

のライブルを迎え撃つ。「個人タイムトライアル(TT)次第で展開が変わる。まずはTTで結果を残す」。波に乗る岡の言葉が力強かった。(三谷十春)